

登山の魅力

東川町のみなさん、初めまして。前任の岸田春香自然保護官の後任として6月から東川自然保護官事務所に着任しました石田美慧と申します。千葉県生まれで、転勤で昨年北海道に引っ越して来て初めて大雪山に登りました。

実は初登頂した山が旭岳。東川町にいられたこととても縁を感じています。今回の連載では登山についてお話しするつもりです。

3年前に卒業した大学で夏山縦走、カヌーを活動の中心にするアウトドアサークルに所属していました。それまで登山経験がなく、山に登る人も周囲にいなかったのですが、新しい挑戦として入部したのです。

初めて登った山は、富士五湖周辺の山、雪頭ヶ岳(標高1,736m)でした。大雪山とは異なり、雪は5月にほとんどなくなります。ちょうどゴールデンウィークの五月晴れの日。登山靴、レインウェア、ザックなど真新しい登山用具を装備し、さわやかな気持ちで登り始めました。

しかし傾斜の急な登山道に慣れず、景色を楽しむ余裕もなく、ひたすら前を歩く人の足を見つめ、汗を流して登る状態。

「鼻歌交じりで登れると思っていたのに、こんなにきついなんて！」。何度思ったか分かりません。でも登頂



Nature Column (ネイチャーコラム)
自然ガイドなどで活躍する人々をリレーしています。

できた時に目に飛び込んできた景色でそれまでの疲れがすべて吹き飛んでしまいました。

6日目以上が冠雪した富士山、裾に広がる樹海、湖や町、そして眼下に小さく動く車、遙か遠くに北アルプス(長野県)の峰々。これまで感じたことがないほど気分が高まり感動を覚えました。その後、北・南アルプスや岩手山、八幡平などで夏山縦走をし、毎回異なる登山の魅力にはまっていきました。

最初の登山の思い出は忘れられません。自分の足で切り切った達成感、満足感。頂上、絶景ポイントからの圧倒的な眺め。小さいながら厳しい環境で一生懸命に咲いている高山花にも癒やされます。山の上で食べるご飯のおいしさも別格です。

山での体験から新しい自分を見つけ、日常のストレスから解放されてリフレッシュすることもできます。特に普段日常生活での悩みなどを抱えていらっしゃるような方こそ登山を勧めたいと思います。この紅葉シーズンから登山を始めてみるのはいかがでしょうか。

環境省東川自然保護官事務所 東川自然保護官 石田美慧



私が初登頂した山・旭岳。初者でも山の楽しみを味わえます。



中国人の花嫁はチャイナドレス? ウエディングドレス?

国際交流員 劉麗麗(リウウ・レイレイ)

西洋化が進んでいる今、アジアの国々でも結婚式の時、ウエディングドレスの姿が良く見られます。純粹で素朴な白、波が立っているような裾は豪華を極めます。西欧風のお姫さまの礼服から発展してきたからで、お姫さまのように貴重に扱ってもらいたいというお嫁さんの気持ちを伝えていくでしょう。

中国では、北京や上海のような大都市では西洋からの影響が大きく、若者たちは教会で結婚式を挙げたり、カクテルパーティーだけで終わらせるなど、比較的自由です。礼服もウエディングドレスだったり、イブニングドレスだったりします。

ところが、地元に行くところ、中国風で「鳳冠霞披(フーガンシャーパー)」の伝統を守り続けています。



「鳳冠霞披」は漢服の礼服で、昔は皇后や妃が祭祀(さいし) 大典などの重要な場合に着用する

西洋化が進んでいる今、アジアの国々でも結婚式の時、ウエディングドレスの姿が良く見られます。純粹で素朴な白、波が立っているような裾は豪華を極めます。西欧風のお姫さまの礼服から発展してきたからで、お姫さまのように貴重に扱ってもらいたいというお嫁さんの気持ちを伝えていくでしょう。

中国では、北京や上海のような大都市では西洋からの影響が大きく、若者たちは教会で結婚式を挙げたり、カクテルパーティーだけで終わらせるなど、比較的自由です。礼服もウエディングドレスだったり、イブニングドレスだったりします。

ところが、地元に行くところ、中国風で「鳳冠霞披(フーガンシャーパー)」の伝統を守り続けています。

「鳳冠霞披」は漢服の礼服で、昔は皇后や妃が祭祀(さいし) 大典などの重要な場合に着用する